

東日本ユニオンにいがた

http://www.geocities.jp/higashinihonunion_niigata/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2017年5月20日発行

第27号 (通巻第59号)

発行者：岡村広志 編集者：教育・広報部

対策は示すも車両性能は現状と変わらず

地本申3号 団体交渉を終了

新潟地本は5月19日、申3号E129系運用に伴う輸送障害の解消に向けた緊急申し入れの団体交渉を行いました。

E129系の冬期運用に伴い、車両性能や構造に起因すると思われる現象発生により輸送混乱を招いたことから、安全・安定輸送の実現と現場社員の不安解消を求めて申し入れを行っていたものです。

E129系冬期運用の課題

パンタグラフ立ち上がり力調整を試行

昨年12月に水上駅構内での出区点検時に発生した通電不能の原因と対策を明らかにするよう求め、

パンタグラフ集電舟への着氷及び着雪が原因と推定しているとの支社回答を受けました。

地本交渉団は、115系では起こらなかった現象がなぜ起こるようになったのかを問いました。

支社側は、115系ではパンタグラフ上昇時の衝撃で雪や氷が落ちたが、E129系は緩衝があること



緩衝を無くすよう交渉団が求めると支社側は構造上不可能であると回答し、今ある条件の中での対策の検討となるとの考えを示しました。

緩衝そのものを調整できないか質すと支社側は、確認するとしました。試行の内容を問うと支社側は、立ち上がり力調整の試行はパンタグラフに

不具合が出ないかを含めて次冬まで見ていくとしました。その上で、車両センターは通常の検査を行うだけで良く、異常があれば車両課を主幹として試行が及ぼす影響かどうかを現場と共に判断していくとの考えを示しました。

またパンタグラフに悪影響が無ければ、試行対象の編成を増やすなどの検討を行うとしました。

主回路保護動作の設定変更は不可能

昨年12月に、水上駅を発生した17551Mが力行不能となった原因を問うと支社側は、パンタグラフ集電舟と架線の凍結により発生したとの推定を示しました。

交渉団は、パンタグラフ離線時に発生するVVVF及びSIVの保護動作を緩和させた車両を試験運用し、車両構造上の問題を

求めました。支社側は、主回路の保護動作の設定変更はメーカーとの協議の結果不可能と判断したとして、現状での対策を検討するしかないとの考えを示しました。



交渉団は、E129系について、耐寒耐雪性能を含めて「待望の新潟電車」と呼ぶに相応しい装備は一体何なのかを問いました。支社側は、即答できないので別途返答すると述べるにとどまりました。

交渉団は、次冬で検証するとの会社姿勢であるが、同じく迷惑をお客さまに押し付けることは認められないと主張、人工的な手法で現象を再現するなど、冬期前までに出来る検証はすべきであると訴えました。

支社側は、VVVFの破壊で本当に動けなくなる事を懸念していて、他に方法は無いとしました。交渉団が他車種はどうかを訪ねると支社側は、「E」が付く新系列の電車には全て保護機能が付いているとしました。

支社側は、VVFの破壊で本当に動けなくなる事を懸念していて、他に方法は無いとしました。交渉団が他車種はどうかを訪ねると支社側は、「E」が付く新系列の電車には全て保護機能が付いているとしました。

制輪子固着時は限流増で強制起動

デイスクブレイキ凍結による起動不能対策を明らかにするよう求めると支社側は、「限流値増による

取り扱い」を周知したと回答しました。交渉団は、限流値増の取り扱いは、本来はどのようなのかを質しました。

支社側は、限流値増はユニットカット時のトルク不足を補うものであるが、凍結時の効果が認められ

たため、車両に与える影響を検討し、耐えられることが確認されたことから周知したとしました。

その上で、この取り扱いはあくまでE129系のみであって、E653系なども運転士の責任ではない、との支社側の回答に対して交渉団は「責任の話しをして認めた上で、凍らせない対策をしない」ということではないとしました。

支社側は、凍結した事象を全て把握できなくなると認めた上で、凍らせない対策をしないというこ

とではないとしました。

提案までに勉強して対策を提案するような姿勢を「見せるよう求めると支社側は、勉強はしていくと回答しました。

支社側は、凍結した事象を全て把握できなくなると認めた上で、凍らせない対策をしないというこ

とではないとしました。



青空の下で好・珍プレー 本部第3回ソフトボール大会

5月12日、本部主催の第3回ソフトボール大会が大井ふ頭海浜公園スポー

ツの森で開催されました。全体で約140名、新潟地本からは17名の仲間に参加し、青空のもとで汗を流しました。

新潟地本チームは第3試合で秋田、第5試合で仙台と対戦し1勝1敗という成績を残しました。懇親会では他地本の組合員のみならずとも、お酒を飲みながら様々語り、交流を深めた1日となりました。

(参加組合員投稿)